

ドラマで実際に使われた ロケセットが3つのまちに

2018年夏、2019年冬・夏の3度、十勝管内の7つのまち(帯広市・新得町・陸別町・清水町・士幌町・池田町・中札内村)で撮影が行われました。今回、そのロケセットが3つのまち(帯広市・新得町・陸別町)に。ロケセットめぐりで、なつぞらの世界観をお楽しみください!!

新得町

ドラマのまま保存された
唯一のロケセットも!

しばた牧場への道 ～入口看板・木柵・橋～



しばた牧場の 玄関・新牛舎



ドラマの中でも印象深い牧場の入口、入口と家屋の中心にある橋、なつが悩んだときに座る丸太イスや周囲の木柵などが見られます。牧草地やオダッシュ山を背景にぜひ写真も撮ってみて。

■ 新得町新得西4線

公開期間 11月30日まで(予定)

※牧草地には入らないでください。
※看板などの備品を壊さないでください。
※車は所定の臨時駐車場へ駐車してください。(路上駐車厳禁)

■ 新得町字新得基線85-13(北広牧場内)

公開期間 10月31日まで(予定)、10:00～16:00

実在する牛舎などを飾り変え当時を忠実に再現。柴田家の家屋の玄関部分を新得町に移設しました。新牛舎は昭和30年代の牧場内部のシーンとして、牛の世話や搾乳のシーンが多数撮影されました。

帯広市

「真鍋庭園」にて
山田天陽の2つのロケセットを公開中!

天陽の家



昭和20年代と30年代、実は時代により違った造りをしている天陽の家。今回は30年代をイメージした家展览展示中。壁は木を張って組み立てられ、周囲には井戸も設置。ドラマの世界観が存分に楽しめます。

天陽の馬小屋 ～アトリエ～



なつに絵心を教えた山田天陽のアトリエを公開中。元は馬小屋だった天陽のアトリエの中には、馬の絵が多数飾られている。天陽のモチーフとされている画家・神田日勝の絶筆のレプリカが見られます。撮影で使われていた絵も随時公開されていきます。

真鍋庭園

■ 帯広市稲田町東2線6 TEL 0155-48-2120

公開期間 ガーデン開園中 8:00～日没まで
(閉園時間は季節変動制/要問い合わせ)

※2019年度は12月1日まで営業。
※2020年度は4月下旬から11月下旬。(予定)
※天陽の家とアトリエは、無料スペースにて公開しています。

真鍋庭園の管理する畑でロケが撮影されたことから、山田天陽のロケセットが移設・公開となりました!

※撮影現場は庭園内にはありません。非公開となっています。

陸別町

赤い屋根のサイロが登場!

柴田家のサイロ

しばた牧場のサイロを道の駅前の多目的広場に移設し公開しています。

道の駅オーロラタウン93りくべつ

■ 陸別町大通 TEL 0156-27-2012 公開期間 通年

